



町長、議長年頭のあいさつ

町政スポット／町議会 12 月定例会報告、新農業委員紹介、

町道一本松線を長根線に接続 ほか

カメラさんぽ／「まちの写真館」で振り返る 2010 年

まちの話題／Asahi 自然観スキー場開き・安全祈願祭、

クリスマス婚活パーティー ほか

「新年も細く長く達者で暮らせますように…」

年越しそばに願いを込める

(裏表紙に説明)

広報

あさひまち

2011 年 1 月号

No. 650



朝日町長 鈴木浩幸

努力・がんばり・おもいやり、 一緒に築こうあたたかい社会

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

さて、昨今の世の中の状況について考えてみますと、先行き不透明感が漂い、閉塞感に満ちた社会・経済状況になっているのではないかと思われます。日本国内はもちろん、世界全体が混沌としたこのような時代に、私たちが見失ってはならないもの。それは、人々の生活そのものであります。そこに暮らす人々の思い・考え・感情など、地域を取り巻く空気をいつも自分の肌を通して感じることができ、そういった常日頃からの姿勢・目線のあり方が重要であると考えます。

ここ数年朝日町では、地域の方々の力強い取り組みが、町内各地区でさかんに繰り広げられています。「自分たちの地域をなんとかしよう」「自分たちでできることは何なのか」そのような考えの中から始まった活動が地域に新たな元気をもたらしています。「今までは若い衆が土

地を去り、寂しくなる一方だったが、町外からも電話をもらったり、直接ここに来てくれる人も多くなってきた。本当にありがたいことだ。なんだか人が来てくれることで自信がわいてくるみたいだ」そう胸を張って誇らしく、笑顔で語る地域の方々。それはまだまだ小さな成功体験であるかもしれませんが、しかしその小さな体験の積み重ねが、確固たる自信と誇り、そして何よりもふるさとに対する深い愛情につながって来るものと思います。

さて今年はどうなるのでしょうか。努力が報われる社会。がんばりが実現する社会。そして小さいもの、弱いものに目が向けられ、おもいやりのあるあたたかい地域が実現する社会。そんなまちづくりを目指して、皆さんと一緒にがんばっていききたいと思えます。

今年も一年皆様が、明るく、楽しく、元気に過ごすことができますよう、そして健康で幸せ多い一年でありますよう心からご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

謹賀新年

年頭のごあいさつ

住んでよかったと思える町づくりをめざして

朝日町議会議長 白田金次郎

明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては平成23年の新春を家族おそろいで清々しくお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は朝日町にとって歴史的な事業がたくさんありました。3月には木の香りとぬくもりあふれる子育て支援センター併設の「あさひ保育園」が竣工。4月3日には0歳から5歳まで176人の園児を迎えた入園式がありました。

また、4月1日にはりんご温泉が新湯源泉からの給湯を開始し、リニューアルオープンしました。8月21日グランドオープンを果たした「蔵のひろば」では、朝日町総合観光案内所「あさひ旅のココロ館」と、地元の豊富な食材を利用した料理を提供する「カフェ蔵」が、町内外からたくさんのお客様をお迎えしています。

さらに、9月11日には調査設計から15年を要した今平と白鷹町大瀬を結ぶ地域住民待望の「大平橋」が完成。吉村知事を迎え多くの関係者による開通式が行われました。

私たちは、この町に生まれてよかった、住んでよかったと思える町づくりが最大の目標だと

思います。朝日町は「空気澄み 人つながり 志高く 未来を拓く 朝日町」を基本目標に掲げた第五次朝日町総合発展計画の実現に向け、一つ一つ着実に進んでいます。

さて、社会・経済の情勢は依然として厳しさを増しております。景気低迷の長期化は失業率の増加を招き、特に若年層の雇用を直撃しています。さらに、経済のグローバル化に伴う環太平洋経済連携協定（TPP）への参加問題、普天間飛行場移設問題、尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件、北方領土問題など内外ともに問題が山積する年でありました。このような時代であればこそ足もとをしつかり見つめ、町づくりの基本目標に向かって確実に進まなければならないと思います。

議会といたしましても、町民皆様とともに住んでよかったと思える町づくりを目指して、誠心誠意その役割を果たしてまいる所存であります。年頭に当たり、朝日町の更なる発展と町民皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



議 会

町議会 12月定例会

町政報告

調整を行っている。今後の施策に反映させていく。

■平成22年度町職員採用試験
10月14日に二次試験を行い、一般行政職3人の採用を内定した。

■村山地域7市7町の消防広域化は時期尚早
平成25年4月を目途に、これまで課題と対応などが検討されてきたが、時間的制約、財源確保等の問題から時期尚早と決定された。

■地域座談会「町長と語ろう」
12月3日をもって全55集落53会場の座談会が終了した。各地区からいただいた意見や要望は、すでに庁内で検討

■デマンドタクシー「あいのり号」運行関連
10月末までの総利用者数は7379人、1日平均では51・2人。現在、5台分の車両の車庫を役場正面駐車場南西角に建設中。完成期限は平成23年2月15日。



役場駐車場の一角に建設中の車庫

■空き家バンク
空き家の有効活用を目的として、9月に設立。町内全戸に登録案内のチラシを配布し、物件の充実を目指した。11月末日まで7件が登録され、町ホームページで情報を発信している。成約はまだないものの、これまで5件ほど相談が寄せられている。今後は物件の充実のほか、相談体制を充実させていく。

■家庭用廃食油の全戸回収を開始
11月1日から実施。約1カ月間で約170リットルが回収された。今後も循環型地域社会の構築に向け、意識の高揚を図る。

■新型インフルエンザ対策
今年度は十分なワクチン量が見込めることから、優先接種などは行わないこととした。全町民が新型と季節性2種の混合ワクチンを接種でき、昨年度実施した負担軽減措置(低所得者の無料化)は、今年度も継続して実施。18歳以下および65歳以上の方に対する接種費用の一部助成も同様に継続し、予防及び重症化防止を図っている。

■あさひ保育園の指定管理者移行(民営化)
11月25日に第1回社会福祉法人設立発起人会を開催し、定款や事業計画等について協議。法人の名称は「社会福祉法人あさひ会」とした。

■りんごの生育・販売状況
夏場の高温干ばつ等の影響が見られ、小玉傾向で数量は前年より2〜3割少ない状況。単価は2割程度高く推移した。



初冬の空気神社

(21・5トン)を大幅に上回る約36トンを計画している。1月には台湾でトップセールスを予定。今後とも農家所得の向上を目指し、販路拡大に努めていく。

■水稻の生育状況等

夏場の高温障害により、11月17日現在における1等米比率は80・3%。出荷量も前年度対比91・8%。
また、昨年より取り組んで

いる人工衛星を使った食味調査を今年度も実施。良食味のはえぬき3270kgを確保し、JAさがえ西村山から「あさひ清流美人」として販売している。

■部員数の減により、複数の部が大会出場困難に
部のあり方を検討する時期か

■部員数の減により、複数の部が大会出場困難に
部のあり方を検討する時期か

西村山中学校新人総合体育大会が9月25日・26日の両日開催されたが、ソフトボール(女子)、卓球男子団体、柔道女子団体戦が部員数の不足により出場できなかった。

生徒のほとんどが何らかの部活動に所属しているものの、生徒数の減少や一部の部活動への集中などがあり、部活動のあり方について検討が必要な時期を迎えている。

あさひ保育園裏山に散策路・展望台

来年春には一般開放も予定

あさひ保育園南側斜面に整備を進めてきた散策路がこのほど完成しました。これは、子どもたちに身近な自然の中で伸び伸びと遊ん

でもらおうと、町が山林約1万2000m²を買収し樹木を伐採するとともに、標高200m付近にある展望台まで総延長約180mの散策路を整備。地面には歩



■カーブミラー4基
交通安全推進のためさがえ西村山農業協同組合様、全国共済農業協同組合連合会山形県本部運営委員会様より



■金員 130,000円
まちづくり寄付金として寒河江市日東ベスト株式会社様より



■金員 50,000円
まちづくり寄付金として朝日町大字常盤若柳由美代様より

■金員 50,000円
ふるさと納税として京都市 田中照子様より

■金員 10,000円
ふるさと納税として千葉県 遠藤美和子様より

■金員 100,000円
まちづくり寄付金として山形市 若柳由美香様より

寄付採納報告

善意に感謝申し上げます



展望台からは宮宿地内の街並みを一望できる

展望台からは、宮宿地内の街並みが一望できるほか、晴れた日には月山、葉山を望むことも可能。来年春以降は、一般開放が予定されていますので、この眺望をぜひ一度お楽しみください。

13人の新農業委員決まる

町農業振興の一翼を担う体制が整う

任期満了に伴う朝日町農業委員会委員の選挙（11月26日告示）は、定員11人に対し9人の立候補者にとどまり、3年前の前回と同様、候補者全員が無投票での当選となりました。

12月21日に開催された改選後初となる臨時会では、最初に各機関から推薦された4人に対し選任書が交付され、その後委員の互選により、会長に鈴木秀一氏（松程）、会長職務代理者に長岡健一氏（石須部）を選出。そのほか委員の所属部会等も決定され、今後3年間、町の農業振興の一役を担う体制が整いました。

農業委員会は農業振興対策や農地の有効活用、利用促進を図る上で重要な役割を担っており、農地の利用に関する様々な許認可権を持っています。所有権の移転や転用など、農地に関する相談は近隣の農業委員、または町農業委員会事務局（☎67・3307）へお問い合わせください。



■会長
鈴木秀一（松程）

■会長職務代理
長岡健一（石須部）

■農地部
渡邊吉助（送橋）★

齋藤興治（常盤）☆

安藤善徳（杉山）

小林晴雄（大沼）

■農政部
今井正仁（新宿／土地改良区選出）

長岡裕一（沼向／町議会選出）

遠藤貞悦（栗木沢）★

宮本建一（西船渡）☆

白田榮一（大谷）

■農政部
浅岡定一（杉山／農業協同組合選出）

阿部為吉（常盤／農業共済組合選出）

任期：平成22年12月21日～平成25年12月20日

※1 ★印…部長、☆…副部長

※2 黒文字は選挙委員、茶文字は選任委員

人工衛星で食味を解析した高品質米

「あさひ清流美人」を小学校に贈る

今年7月から町内3小学校に対し、町内産はえぬき「あさひ清流美人」を贈っているJAさがえ西村山朝日町水稻部会の佐竹光喜部会長らが12月16日、宮宿小学校を訪問しました。

「あさひ清流美人」とは、人工衛星に搭載されたセンサーで食味を解析した高品質な米で、同部会が新潟県内の業者に委託し、昨年度から取り組んでいるもの。取組みでは人工衛星で刈り取り前の水田を撮影し、近赤外線と稲穂のタンパク質を測定。一般的に、米はタンパク質含有量が少ないほど良い食味ですが、その含有量が少ない、水のきれいな山間部の水田を厳選することで、米の高品質化とブランド化を図っています。



生産者にお礼の言葉を述べる児童

7月から3月までの9カ月間で1200キロが提供される予定（3校合計）。この日の訪問は新米の提供を機に行われたもので、佐竹部会長は「朝日町で獲れたおいしいお米を食べて、町はいいところだということを実感してください」とあいさつ。児童に獲れたての米を贈呈するとともに地産地消をPRしました。

シンガポールでラ・フランスを試食販売

りんごに続く農産物の海外戦略第2弾

りんごに続く農産物の海外戦略第2弾として、ラ・フランスの輸出が今年初めて行われました。それに伴い、町西洋なし組合の阿部為吉代表とJA、町の担当者が12月16日からシンガポールで販促活動を行いました。

シンガポールは人口460万人、面積は東京23区とほぼ同じという小さな国ですが、1人あたりのGDP（国内



試食販売を行う阿部為吉町西洋なし組合代表

総生産）は日本に匹敵。可処分所得いわゆる「自由に使える所得」は日本より多く、すでにアジアの先進国の一つに名を連ねています。

一行は高島屋をはじめとした高級百貨店5店舗の青果物売場で活動を展開。行き交う買い物客に試食を提供すると、ラ・フランス特有の高貴な香り、食感、味に多くの方が関心を示し、上々の反応を見せていました。中には、ギフト用に箱で予約注文する方もいるなど販売の方も順調に進みました。

阿部代表は「初めて食べるラ・フランスに現地の人がどんな反応を示すのか当初は不安でしたが、今となっては無用の心配でした。懸念された輸送や追熟についても大きな問題はなく、食べごろのラ・フランスを提供できる状況を確認できました。現地の評判もいいので、来年以降は本格的な輸出拡大に努めていきたいと思えます」と意欲を見せていました。

町道一本松線を長根線に接続

回遊性を高め、交流・観光を推進

主要地方道長井大江線から能中地区の「一本松公園」に通じる「町道一本松線」がこのほど延長され町道長根線に接続されることとなり、工事のための測量設計が11月30日をもって完了しました。

平成11年に農水省の「日本の棚田百選」に選ばれて以降、年々知名度が上がっている「榎平の棚田」。一本松公園は棚田を一望できる高台に位置し、今や年間を通じて多くの観光客が訪れるようになっていきます。今回の工事は、行き止まりを解消することで棚田を訪れる方々の回遊性を高め、町の交流・観光を推進することを目的としています。工事は平成22年度から3年間の計画で、延長区間の



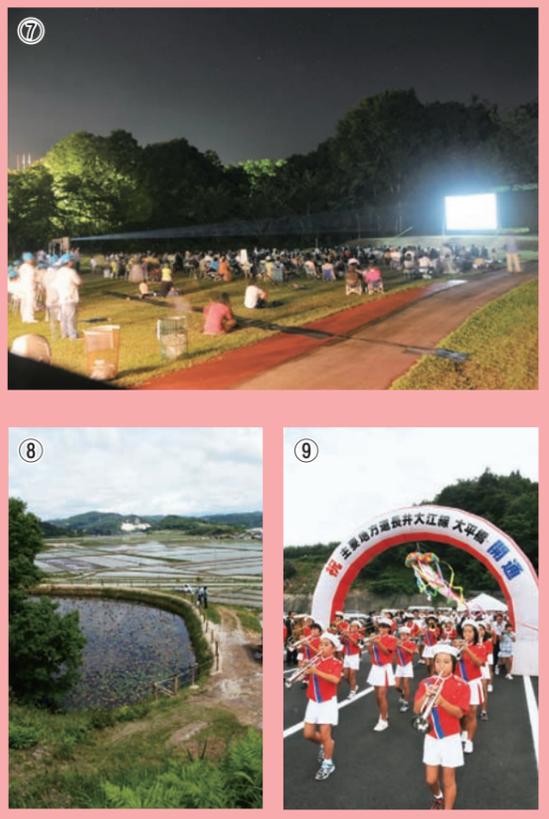
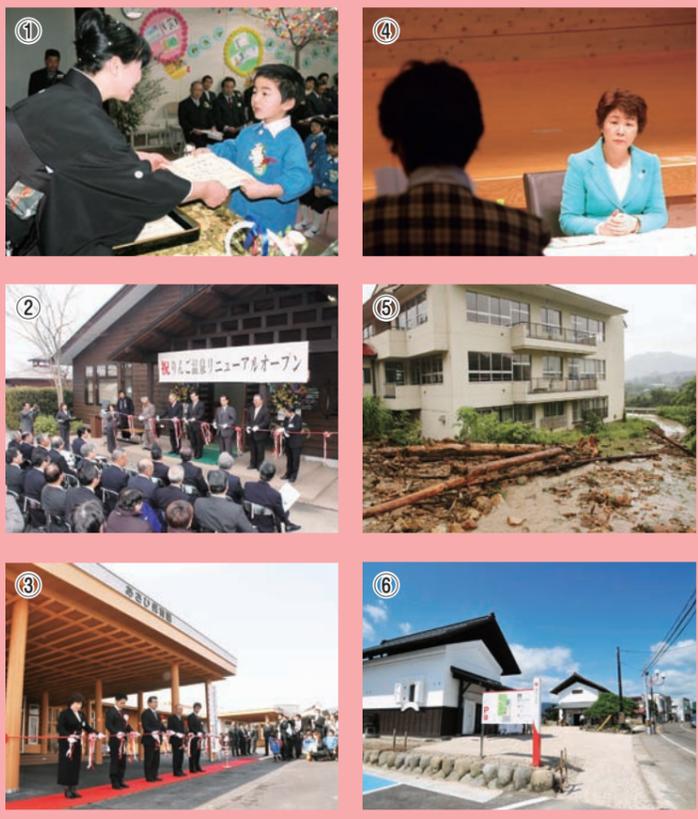
距離は約800m。できるだけ切り土、盛り土を見えないようにするなど、棚田の景観に配慮した整備内容が検討されています。

すでに能中区及び地権者に対する事業説明は終了。平成23年度から用地買収そして本格的な工事が進められる予定です。

NEWS

1年間の主な出来事を振り返りました

- ① 3 保育園で最後の卒園式(3月)
- ② りんご温泉がリニューアルオープン(4月)
- ③ 子育て支援センターを併設した「あさひ保育園」が開園(4月)
- ④ 吉村知事が来町 知事と語るう市町村ミーティング(5月)
- ⑤ ゲリラ豪雨で大きな被害(7月)
- ⑥ 町交流・観光の拠点施設「蔵のひろば」がオープン(8月)
- ⑦ 満天の星空の下でアウトドア映画を観賞 パンプ・マウンテン・フィルムフェスティバル(8月)
- ⑧ 農水省ため池百選に「馬神ため池と大谷の郷」が選定(3月)
- ⑨ 大平橋が開通(9月)



SEASON

季節ごとに描き出される表情を追いかけました

- ① Asahi自然観20周年雪まつり(2月)
- ② ドキドキ探検隊・いもがわ少年教室合同力ヌー遊び(7月)
- ③ 第28回朝日川溪流まつり(8月)
- ④ 秋の農繁期 枝豆の収穫(9月)
- ⑤ 伝統ある大谷風神祭(8月)



朝日町ホームページ内
「まちの写真館」
で振り返る

2010年

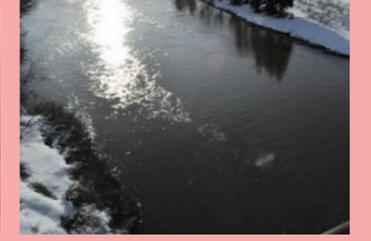
町ホームページにある「まちの写真館」では、町内のタイムリーなニュースや、季節ごとの自然風景、そのほか昔ながらの伝統文化など、様々な話題を取り上げ、たくさんの写真で紹介しています。
今回は2010年に紹介した62件の話題の中から選りすぐりの写真をピックアップし、1年間を振り返ります。「まちの写真館」はバックナンバーもすべてご覧になれますので、ぜひご覧ください



SCENE

自然が織りなす様々な風景を収めました

- ① 夕闇にホタルが舞う高田地区(6月)
- ② 秋の夕焼け空(10月)
- ③ 最上川ビューポイントから望む真夏の川霧(8月)
- ④ 田植えを終えた初夏の椹平の棚田(6月)
- ⑤ 朝日川を遡上するサケ(10月)
- ⑥ 朝霧が立つ晩秋の最上川(11月)
- ⑦ 朝日を映す真冬の最上川(1月)



平成 22 年度
全国中学生人権作文
小学生書道コンテスト
山形県大会

【小学生人権書道の部】

▼県大会入選賞 五十嵐美輝（大谷小6年／栗木沢）
▼協議会奨励賞 齊藤星（西五百川小6年／夏草）、長岡結希（大谷小6年／大谷

五）、會田春菜（宮宿小5年／元町）

【中学生人権作文の部】

▼協議会奨励賞 志藤向日葵（朝日中3年／大谷一）、鈴木里穂（朝日中3年／大谷五）

まちの話題

「ホームページに写真」の表記があるものについては、町ホームページの「まちの写真館」コーナーで、多くの写真を紹介しています。ぜひご覧ください。



鈴木駿太朗さんの「支えられて」が最優秀作品「いのちの詩」コンクール（11月26日／山形市内）

「支えられて」

人は色々なものに支えられて生き続けている
一人の力だけで生きられるほど 人は強くない

家族の言葉に支えられて
友達の声に支えられて
困難に立ち向かう勇気が生まれる

本の中の短い文章に支えられて
大好きなロックバンドの歌に支えられて
何度も挑戦しようという気力が生まれる

テレビで見た ある人の姿に支えられて
ラジオで聴いた ある人の話に支えられて
自分もそうなりたいという目標が生まれる

夏の晴れた日の青空に支えられて
部活動の帰りに見た夜空に支えられて
明日も頑張ろうという希望が生まれる

一人の力だけで生きられるほど強くないから
僕は色々なものに支えられて生き続けている

「人の命は色々な支えがあって成り立つ」



鈴木駿太朗さん

山形県と絆やまがた被害者支援センターが主催する「いのちの詩（うた）コンクール」において、鈴木駿太朗さん（朝日中3年／松程）の「支えられて」が最優秀作品に選ばれ、11月26日山形市で開催された「犯罪被害者支援県民のつどい」の席上、山形県知事表彰を受けました。

このコンクールは、「いのちの大切さ」をテーマに2年前から実施されているもので、3回目となる今年の応募総数は、中学生から一般まで合計約300点。鈴木さんの作品は、中学生の日常的な生活が垣間見える、活き活きとした描写が高い評価を受け、最優秀作品に選ばれました。

鈴木さんは「詩を通して、改めて自分が色々なものに支えられて生きているということを実感しました。それらすべてに感謝したいです」と振り返っていました。

Asahi 自然観スノーパーク スキー場開き・安全祈願祭（12月18日／現地）



12月18日に行われた安全祈願祭

い、シーズン中の無事故とにぎわい、そして一日も早いシーズンインを祈願しました。

Asahi 自然観では今年も様々な割引企画を実施。家族・友人お誘い合わせのうえお出てください。

◎「スキー子供の日」毎月第1・第3・第5日曜日 小学生リフト無料
※幼児（小学生未満）は全日リフト無料（ただし保護者の同伴が必要です）

◎「レディースDAY」毎月第2第4土曜日 女性1日券500円
※中学生以上の女性が対象

◎「シニアデー」毎週月曜日 55歳以上の方1日券1,000円
※祝・祭日は除きます

無事故とにぎわい、一日も早いシーズンインを祈願

Asahi 自然観スノーパークのスキー場開き・安全祈願祭が12月18日ユージュゲレンデ内で行われました。

この冬は同日までまとまった雪がなく、この日の積雪量は25センチほど。オープンは見合わせとなりましたが、関係者約50人が神事を行

クリスマス婚活パーティー（12月19日／西部公民館）



料理から会食まで約4時間交流を深めたパーティー

積極的な「婚活」で運命の出会いを探そう

西部公民館が主催する「クリスマス婚活パーティー」が12月19日同公民館で行われました。

この催しは、「西部青年教室」としてこれまで町内の男女を対象に行っていたパーティーを拡大し、今年初めて開催したもの。この日は20代から40代までの男性15人、女性10人の合計25人（うち町外10人）が参加し、料理から会食まで約4時間交流を深めました。

町内でこうした催しが行われるの

は、平成7年度から14年度まで町が開催していた「アップルカップルパーティー」以来約8年ぶり。スタッフとして参加した結婚対策担当の町職員は「近年は「婚活活動」を意味する『婚活』という言葉も定着し、こうしたパーティーも各地で行われるようになりました。出会いを待つだけでなく、まずはこうしたイベントに出かけてみてはいかがでしょうか」と未婚者の積極的な婚活に期待していました。

あさひ保育園なかよしクリスマス会（12月18日／創遊館）



「あさひっこ探検」で訪れた種まき桜（栄町）を表現する園児

半年をかけ訪ね歩いた町の様々な見どころを表現

あさひ保育園のなかよしクリスマス会が12月18日創遊館ホールで行われました。

昨年までは3保育園でそれぞれ行われていたクリスマス会ですが、今年は統合により会場も一つに集約。

約400人を収容できる創遊館ホールも、あふれんばかりの来場者でにぎわいました。

アトラクションでは各組ごとに歌や踊り、そして体操など様々な出し物を披露。中でも、最後を飾った「あさひっこ探検」の演目では、年長組園児47人が春以降半年をかけ、この探検で訪ね歩いた町内の様々な見どころを紹介。ポンポンや組み体操で花や自然の美しさが表現されると、会場からは大きな歓声が上がり、保護者らは子どもや孫の成長ぶりに目を細めていました。

わたしの作品



「年をとったさくらの木」

第52回山形県子ども絵画展 奨励賞受賞作品



菊地翔悟 くん (西五百川小2年/夏草)

学校の前にある桜の木を描きました。年をとって、花はあまり咲いていなかったけど、太い幹はまだしっかりしていて、グンと空の方に伸びていました。
 図工は授業の中で一番好き。特に絵を描くのが大好きで、家でも山や海など自然のほか、よくいろいろなものを想像して描いています。



あけましておめでとうございます。町情報交流推進員の佐藤恒平です。

僕が扮する、ふるさとCMや物産展で活躍中のピンクの着ぐるみキャラクター「桃色ウサビ」は今年も町のPR活動がんばります。朝日町のホームページで活動を紹介していますので、応援よろしくお願ひします。うさぎ年はウサビの飛躍の年にします(右写真参照)!

ウサビ

検索

←思いついたらウサビで検索

こんな感じに飛躍します→



あけましておめでとうございます

皆様にとって、今年が素晴らしい年でありますよう、広報委員一同心からご祈念申し上げます。
 今年も、皆様に親しんでいただける広報誌となるよう、より一層紙面づくりに努力してまいりますので、ご指導とご鞭撻の程をよろしくお願ひ致します。

- 広報委員長 長岡 信悦(常 盤)
- 同副委員長 阿部 安彦(大谷 五)
- 広報委員 小林 重敏(大谷 五)
- 布施 正徳(本 町)
- 細谷 智美(宇津 野)
- 柴田さくら(四ノ 沢)
- 海野 淳(産業振興課)
- 伊藤 由佳(教育文化課)
- 担当課長 清野 直治(政策推進課長)
- 担当係長 橋間 友則(地域情報係長)
- 担 当 佐久間 淳(政策推進課)

〈表紙の写真〉

連日、県内外からのお客様でにぎわっている「そば屋亀次郎」の店主鈴木俊昭さん(沼向)。毎朝午前5時前からそばを打っているそうです。ちなみに、年越しそばの由来について調べると、①そばは細く長いことから、新年も末永く達者でいられるようにと年末に食べられるようになった ②金銀細工師が金粉を集める為にそば粉の団子を使用したことから、金を集める縁起物として食べられるようになった、など諸説あるようでした。